



だより



R8.4.9 Vol.1

スタート地点へ…

今年度からお世話になります校長の山本雅人です。八幡浜市松柏から通っています。

この松蔭小学校は私が教員人生をスタートした地でもあり、教頭時代も3年間お世話になったとても思い出のある学校です。

「お帰りなさい！」とお声がけしていただいた方も何人かおり、自分の教師としての原点の地で校長として働けることを大変うれしく思っています。6年生の児童は私が教頭時代にも在籍していた子供たちなのでおそらく覚えてもらっていると思うのですが、他の児童たちとは初対面です。

新しい子供たち、保護者の皆様との出会いに感謝し、その期待に応えることができるよう、チーム松蔭一丸となって教育に勤しみたいと心新たにしております。どうぞよろしくお願いいたします。

あいさつ！頑張らせます！

松蔭の子供たちは挨拶がとてもいいと聞いています。今年度も引き続き、元気な挨拶を頑張らせたいと思います。昔、先輩教師から「**元気だから大きな声が出るのではない、大きな声を出すから元気になるのだ！**」という話を聞いたことがあります。私もそう感じます。

「なぜ挨拶をするのか？」それが人間関係の基本であり、人間が社会的生物の証でもあるからだと思います。挨拶することで「他人とつながるスイッチ」が入る！ということではないでしょうか？

人間は決して一人では生きていけません。周りと関わりながら生き、成長していく存在です。より良い関係を築いていくための「はじめの一步」である挨拶！
しっかり頑張らせたいと思います。



四方山話松蔭 ver. 其の一(校長として…)

前述しましたが、この松蔭小学校は私にとって非常に思い出深い学校です。初任者として、この学校に赴任し、7年間、子供たちと関わりました。その当時の教え子も今、何人か保護者としてこの学校を支えていただいていることに感慨深いものがあります。

松蔭小の正面玄関の桜、この便りを作成している4月1日、満開です。おそらく子供たちがやってくる始業式、入学式には葉桜に変わりつつある頃でしょう。私が母を亡くしたのもこの桜の季節でした。一昨年度は、小さい頃仲良くしていた同級生、若い頃お世話になった先輩の先生、ずっと懇意にしていたこの学校での私の教え子一期生である子を亡くしました。当然ですが、鬼籍に入ったこの方たちはもう桜を見ることはできません。自分はあと何回桜を見ることができるのだろうと思うとき、先のことなど誰にも分かりませんが、おそらく今まで見てきた桜の半分くらいの数かも…そんな気がしています。玄関の桜を眺めながら、今を一生懸命に生きたい、自分がやれることをしたい、子供たちと共に、亡くなった大事な人たちのために、今を生きている関わりのある人のために…そんなことが頭をよぎります。

拙い内容ではありますが、この便りを通して、私の校長としての、教師としての思いや考え、職員の様子、私から見た子供たちの様子を発信していこうと思っています。

私自身にも言い聞かせている言葉ですが、「**一生懸命であること！**」これから職員にも子供たちにも伝えていきたいと思っています。今年度1年どうぞよろしくお願いいたします！

----- 切り取り線 -----

便りの感想や学校への要望等ありましたら、お聞かせください。今後の学校経営・運営に役立てていきたいと思っています。